野の宮

[謡本] 野の宮 1冊 WA7- 072-001

国立国会図書館

ヤキ訂

是ハ諸國一見ニ僧よりてはゞかる
此程ハ都よりひて諸國乃必所
旧記殘事所々一見仕事ていゝ又
秋も末に成ハ人ハ漢家聖の方
庚しくは百ぢ哉一見をりや聖
おもひ人ハ是ハ家乗を人ハ事て
人ハ其野乃宮ニ旧臨とも如中候

書 17.10.-6 国会図

[謡本] 野の宮 1冊 WA7- 072-002
国立国会図書館

逆縁なりけり一見をりや思ひ
此森にきてこの樹木の
為なかりし袂着にかゝりぬ
あるをまなるまじこゝろもなるよと
いひたる事やよしなく
かゝる時節に宮まであひて拝こ
やみきこゆしき伊勢の禊の

随所の法の道にあひし心愛よ
頼て言所心もはじめ家にかく
花よな秋さし野の宮あはく
あきよろもちそいのなから世
おもしろあまた拙乃きゝしも秋
昔て猶思ほ重遊く袖の露分け
日たくかなかを下く秋心乃こゝい

[謡本] 野の宮 1冊 WA7- 072-004
国立国会図書館

[謡本] 野の宮 1冊 WA7- 072-005
国立国会図書館

そのかたをこそ四条の寸面けき
ごこ秋老いすしへ所宮にたゝせ
給ひし人乃りまゝ小字清わまれ
野の宮まわざしもまとも是は
此すたゝぬまゝ長月七日落
ふハ又昔をおもふ年々に
人ゝ者しろ祝見や所をきよ免

（ヤカル）

清神事をなれとゝ何にゝ恵も
しろぬ清事なれ所ゝ来里紆ふ方
はゝうわあまとまゝくゝかん里
紆へとゝ（半詞）以ぬやく是いくなし
りらぬ牙紆り末も定めなる
世をはてひとゝ乃りはなる面し
ごとくしきゝそふわすし隠を

[謡本] 野の宮 1冊 WA7- 072-006
国立国会図書館

くふことは菅をおもひたまふ
上カル
ぶりに袂を叩りなほさとやらせ
シテ詞
光源氏此所にまゐて給ひしハ
長月七日深目くふにあたまわ
ぞ問いさゝの持紆ひし榊乃
枝我ぶり袋ぞうちにさしをき
紆へハ清息所をあへ
トカル
祿恒を

しるし乃杉もなほ地を詞ぶりに
南かへて杉を南さり袋そと読
たすひし我くふそりし
ヤキ上カル
くふに
杉もし詠き言乃葉紆ぶりもち
紆ふ榊乃枝も菅ふ替らぬとよ
シテ詞
なふ
菅ふかりしぬとそ紫ハ
榊乃見ゝ音ぶ盤紆陰の
ヤキ
森乃

[謡本] 野の宮 1冊 WA7- 072-007
国立国会図書館

[謡本] 野の宮 1冊 WA7- 072-008
国立国会図書館

[謡本] 野の宮 1冊 WA7- 072-009
国立国会図書館

[謡本] 野の宮 1冊 WA7- 072-010
国立国会図書館

乃へてよもれりしが乃清隠を
とふとゝぬく　聖乃宮ゟ嫁乃
各程乃ハ船車ゞもむりしふ
めくわ来にくわ　ふしきや明
月ゟ光もりれ　のなゝ車ゟ音乃
ちり浦く方をごろ秘たあし　諸浦
しこれなき思ひのけさゝ様

なるめゞ様うこかふ所もなく
ゞんやれとゝ諸まてましまれり
ぎ成あまき　のなゝ所ゝ所ゝ所ゝ説
のなゝ車とゝたまへ　老
おもひ出たわ　ゟ　賀成ゟ
まゝわゟ車あらうひ　ハ諸共
しらゝ遊乃　ゟ　ゟまてこて

[謡本] 野の宮 1冊 WA7- 072-011
国立国会図書館

[謡本] 野の宮 1冊 WA7- 072-012
国立国会図書館

[譜本] 野の宮 1冊 WA7- 072-013
国立国会図書館

国立国会図書館

[謡本] 野の宮 1冊 WA7- 072-014

国立国会図書館

[謡本] 野の宮　1冊　WA7-　072-015

国立国会図書館